

8月1日～8月30日

美しい写真と細部までこだわった作品 弟子屈郵便局で同時開催

青木さんの作品の数々



モデルの世界作品展」が開催されました。

水越さんは、日本郵便局北海道支社がフレーム切手に使用した屈斜路の写真11点を展示していました。今回が2回目の展示会となる青木さんは、52台のカーモデルと作品が完成するまでの様子を工程表にして展示していました。

弟子屈郵便局(藤原将男局長)では、8月1日～23日、水越武さんの「共に歩んだ屈斜路」と8月1日～30日、青木哲也さんの「スケール

7月29日

順調な収穫と出荷を願って 摩周メロン豊穠祭を開催



出荷祝のメロンカット

摩周メロン生産組合(窪内英和組合長)の豊穠祭が7月29日、町農産物集出荷センターで行われ、徳永町長、摩周湖農協の川口覚組合長、弟子屈郵便局の藤原将男局長がメロンカットを行いました。

今年は、4、5月の低温により温度管理に苦労したが、6、7月は天候にも恵まれ、糖度や大きさも十分なメロンを収穫したと報告がありました。

窪内組合長は「多くの人に食べてもらうために、一丸となって生産していきたい。」と話していました。

8月5日

夏休み企画 バスとノロッコ号で行く☆わくわく☆めぐり旅を実施

参加した児童たち



この事業は、さまざまな体験を通じて社会性などを養い、思いやりの心や郷土に対する関心を深めることを目的とし、今回は、町内の小学生23人が参加しました。

岩原教育長が見送る中、町公民館前を出発。バスで温根内ビジターセンターに向かいクイズ形式で釧路湿原や野生動物について勉強した後、釧路駅からノロッコ号に乗って帰ってくるという行程でした。緊張した表情で出発した児童もすっかり笑顔になって帰ってきました。

8月9日

地元の景色を堪能 てしかがふるさとSKYクルーズを実施

生徒を乗せたヘリコプター



上空から弟子屈町の美しい自然を子どもたちに実感してもらうことが目的で、ヘリコプターは、渡辺体験牧場の特設ヘリポートからスタートし、摩周湖や屈斜路湖、硫黄山を周遊しました。町内の中学生15人が参加し、貴重な体験をすることができました。

ふるさと教育の一環として8月9日、ヘリコプターで遊覧飛行を楽しむ「てしかがふるさとSKYクルーズ」を実施しました。

かき氷をもらう園児



全員で天の川に星を飾りつけました。その後、年長さんが金魚すくいやくじ引きの屋台を出店し、園内でお祭り気分を味わいました。

参加した園児たちは、真剣に金魚すくいをしたり、かき氷を食べたり、笑顔になっている姿が見られました。

8月7日

願いよ叶え いつの日か 川湯保育園で七夕祭りを実施

川湯保育園(番場新一郎園長)は北海道の七夕8月7日に、七夕祭りを行いました。先生方から、七夕の由来について聞いた後、園児

大きな口でスイカを食べる園児たち



田さんから寄附されたもので、令和2年秋に旧園舎の畑で農作物の盗難事件が発生し、その記事を見て悲しんでいる園児を喜ばせようとそれ以来、果物などを寄附されています。同じく認定こども園ましゅう(鈴木幸榮園長)にも寄附されました。

寄附されたスイカは切り分けられ、園児たちが「甘くて、美味しい。」と笑顔で食べていました。

7月24日

園児たちを喜ばせたい 川湯保育園がすいかを受贈

川湯保育園(番場新一郎園長)に7月24日、でんすけすいか1玉が寄附されました。

標茶町在住の梅

7月26日

町発展のために寄附を 辻谷建設株式会社に紺綬褒章の授与

賞状を手にする辻谷社長(左)



辻谷建設(辻谷智之代表取締役)は、創業90周年を記念し、町に1000万の寄附をしたことにより紺綬褒章を受賞し、その伝達式が7月26日、町役場で行われました。

紺綬褒章とは、公益のために私財を寄附した個人または団体に天皇陛下より授与されるもので、辻谷建設は昭和38年、昭和40年以来、今回が3回目の授与となりました。

辻谷社長は、「今回、名誉ある賞をいただけてとても感謝している。今後も地元のために貢献していきたい。」と話していました。

7月27日

木に触れて親子で作品作りに挑戦 夏休み親子トンカチ広場を開催

家族で協力して作品づくり



町主催による「夏休み親子トンカチ広場」が7月27日、町林業多目的センターで開催されました。親子で木に触れ合う機会を作ろうと木育の一環として毎年行われているもので、親子5組、合わせて12人が参加。親子での夏の思い出づくりや夏休みにむけた自由研究として熱心に作品を作っていました。

作品はどの家庭も力作ぞろいで、子どもたちは普段使い慣れないのこぎりや金づちの使い方を家族に教えてもらいながら、上手に作業をしていました。

7月26日

事故には気を付けて こぐまクラブが交通安全啓発運動を実施

啓発品を渡す園児



川湯保育園(番場新一郎園長)こぐまクラブが7月26日、川湯支所前で交通安全啓発運動を行いました。

弟子屈警察署川湯駐在所の協力の下、毎年実施しているもので、今回3～5歳児の9人が自分たちで作成したメッセージカードなど啓発品をドライバーに渡し、交通安全をよびかけていました。

川湯駐在所の木下巡査部長は「園児たちのおかげで、多くの人に啓発することができた。こどもたちも事故には気を付けて楽しい夏を過ごしてほしい。」と話していました。

7月26日、8月7日

弟子屈のPRのために 日本郵便局(株)がフレーム切手を贈呈

写真を提供した水越さん



日本郵便局北海道支社が弟子屈町のPRのため2種類のフレーム切手を作成しました。

1つ目は、町在住の水越武さんが撮影したフレーム切手「写真家水越武と共に歩んだ屈斜路」で、屈斜路の壮大で神秘的な写真が使用され、同切手を7月26日、町と水越さんに贈呈しました。

2つ目は、第13回弟子屈フォトコンテストで入賞した作品で構成された「阿寒摩周国立公園90周年」で、町内の自然やシマエナガの写真などが使用され、同切手を8月7日、町と同コンテストを主催した(一社)摩周湖観光協会(渡辺隆幸会長)に贈呈しました。